

2.6.第6学年の実践（マスタリー・ラーニング・モデル〔完全習得モデル〕）

1. 単元名 「分数のかけ算とわり算」

2. 単元の目標

分数の乗除計算の意味とその計算のしかたについて理解し、それをを用いる能力を伸ばす。

関・分数の乗除計算のしかたを、分数の性質や既習の計算と関連づけて考えようとする。

考・分数の性質や既習の計算をもとにして、分数の乗除計算のしかたを考える。

表・分数の乗除計算ができる。

知・分数の乗除計算の意味やその計算のしかたを理解する。

3. 個に応じた指導に関して

小学校で習う四則計算では「分数のかけ算とわり算」が最後の単元である。そこで分数の既習内容（通分・約分のあるたし算、ひき算まで）をレディネステストでつまずきをチェックした。この結果を、同値分数の意味、通分・約分の意味が理解できていない児童については補習してから分数のまとめの単元である本単元に入るようにした。

授業の進め方については、小単元ごと学習内容の組合せで一斉授業を進め、授業の後半にプリント学習で確かめをするようにしたいと考えた。学習プリントはそれぞれ段階を追って4枚（4×6計24枚）作成した。答え合わせは各自が行い、磁気ネームプレートを移動し、学習進度が一目で分かるようにした。つまずいている児童にT1、T2が付き個別指導を行った。つまずいている児童用の補充プリントも用意した。また、4枚のプリントが終えた児童にはチャレンジプリントも用意した。

3. 指導計画 18時間

時	目標	学習活動	評価規準	個に応じた指導の工夫
1	・分数の既習内容 が理解できているか。	・レディネステストをする。	・既習内容がどれだけ理解 できているか。	・レディネステストの結果 をチェックし、補充 プリントで個別指導を する。
2	・分数に整数をか ける計算の意味 を理解する。 ・分数×整数の計 算のしかたを理 解し、その計算 ができる。 ・分数×整数の計 算で途中で約分 できる場合のし かたを理解し、	・1 dlで2/5 m ² 塗れるペンキが あるとき2 dlで塗れる面積 を求める式を考える。 ・2/5 × 2の計算のしかたを考 える。 ・分数×整数の計算のしかたを まとめる。 ・3/8 × 4の計算のしかたを考 える。 ・途中で約分できる場合の計算 のしかたをまとめる。	関・分数×整数のしかたを 図を用いて考えようとし ている。 考・分数×整数の計算を単 位分数のいくつ分とら えて整数の乗法に帰着し て考えている。 表・分数×整数の計算がで きる。 ・約分のある乗法計算が できる。	・4問、4枚のプリント を自己採点しながら進 めようになることを説明 する。 ・児童の流れ、氏名マグ ネットの移動の説明。 ・遅れている児童にはT 1、T2の教師で個別 指導に回る。 ・早く終わった児童には チャレンジ問題やドリ

	その計算ができる。	1 - 1 ~ 1 - 4 のプリントをする。	知・分数に整数をかける計算の意味や分数×整数の計算のしかたを理解している。	ル問題をさせる。 真分数×整数 真分数×整数 約分有
4 5	<ul style="list-style-type: none"> 分数を整数でわる計算の意味を理解する。 分数÷整数の計算のしかたを理解し、その計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2 dl で $4/5$ m²塗れるペンキがあるとき、1 dl で塗れる面積を求める式を考える。 分数÷整数の計算のしかたを考える。 分数÷整数の計算のしかたをまとめる。 2 - 1 ~ 2 - 4 のプリントをする。 計算ドリルで復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 考・分数÷整数の計算を、単位分数のいくつ分ととらえて整数の除法に帰着して考えている。 知・分数を整数でわる計算の意味を理解している。 ・分数÷整数の計のしかたを理解している。 表・分数÷整数の計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅れている児童には T 1, T 2 の教師で個別指導に回る。 早く終わった児童にはチャレンジ問題やドリル問題をさせる。 <p>真分数÷整数 真分数÷整数同値分数</p>
6 7	<ul style="list-style-type: none"> 分数をかけることの意味を理解する。 真分数×真分数の計算のしかたを理解し、その計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 dl で $4/5$ m²塗れるペンキがあるとき、$2/3$dl で塗れる面積を求める式を考える。 $4/5 \times 2/3$ の計算のしかたを考える。 真分数×真分数の計算のしかたをまとめる。 <p>3 - 1 ~ 3 - 4 のプリントをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関・真分数×真分数の計算のしかたを、図を用いて既習の分数×整数、分数÷整数の計算と関連づけて考えようとしている。 考・既習の分数×整数、分数÷整数の計算をもとにして、真分数×真分数の計算のしかたを考えている。 表・真分数×真分数の計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅れている児童には T 1, T 2 の教師で個別指導に回る。 早く終わった児童にはチャレンジ問題やドリル問題をさせる。 <p>分数×分数</p>
8 9	<ul style="list-style-type: none"> 計算の途中で約分できるときは、約分すると簡単なことを理解する。 整数×分数の計算のしかたを理解し、その計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> $8/9 \times 3/10$ のくふうした計算のしかたを考える。 $3 \times 2/5$ の計算のしかたを考える。 <p>4 - 1 ~ 4 - 4 のプリントをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算ドリルで復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関・計算の途中で約分すると簡単に処理できることよさに気づき、約分してから計算しようとしている。 表・途中で約分できる計算、整数×分数の計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅れている児童には T 1, T 2 の教師で個別指導に回る。 早く終わった児童にはチャレンジ問題やドリル問題をさせる。 <p>分数×分数 約分有 整数×分数</p>

15	<ul style="list-style-type: none"> その算ができる。 学習内容に習熟する。 	教科書の練習と計算ドリルをする。	<ul style="list-style-type: none"> 計算のしかたを理解している。 表・分数の除法計算ができる。 	
16	<ul style="list-style-type: none"> 時間の分数表示について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3/4時間は何分か考える。 40分は何時間か考える。 <p>教科書の問題と計算ドリルをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 表・時間を分数表示して、問題解決に用いることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅れている児童にはT1, T2の教師で個別指導に回る。
17	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の理解を確認する。 学習内容の理解を深め、算数への興味を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> たしかめをする。 「チャレンジ」分数の除法計算のしかたを、わり算の性質を用いて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 知・分数の乗除計算のしかたを理解している。 考・わり算の性質を用いて、除法の計算のしかたをせつめいできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅れている児童にはT1, T2の教師で個別指導に回る。
18		<ul style="list-style-type: none"> テストをする。 		

成果と課題

単元に入る前にレディネステストで、チェック（診断）をしたので既習の内容でのつまずきが解り、その児童には事前に補充プリントで個別指導したことが良かった。

1枚のプリントの問題数を4つ、1つの学習内容について4枚のプリントにしたので一斉授業の確かめとしてはちょうど良い量であった。ほとんどの児童が時間内に終了し、チャレンジ問題や教科書の問題に進むことができた。また、氏名マグネットを移動することで、学習進度が一目で分かり、遅れている児童には2名の教師で個別指導にあたることができた。

今回の進め方は事前にプリントやその回答の準備が必要だが、6年児童の実態を考慮すると、2名の教師で個別（的）指導を進めるには適していると思う。